



# 友愛活動の手引き

～友愛活動スーパーバイザー編～

まめなかいしまね

公益財団法人 島根県老人クラブ連合会



# はじめに

近年、島根県においても、少子高齢化や生活スタイルの変化などにより、地域で行われていた様々な活動や行事の衰退、近隣の住民同士の関わり希薄化などが社会問題になっています。そうしたことにより、地域の中で「孤立」し、様々な「生活上の困りごと」を抱えている高齢者も少なくありません。

こうした社会の状況から、今、各市町村において地域における支え合いの仕組みの再構築が検討されています。その中で、地域住民の多くを占める「高齢者」が、自ら地域活動の担い手となって、暮らしを支えていく取り組み、「高齢者相互の支え合い」に大きな期待と関心が寄せられています。

老人クラブでは、これまで全国三大運動として「健康」「友愛」「奉仕」に取り組んできました。中でも「友愛（活動）」は、まさに今求められている「高齢者相互の支え合い」であり、高齢者の孤立防止にもつながる活動と言えます。

そこで本会では、「老人クラブは地域福祉推進の一翼を担う活動団体である」という認識のもと、地域の関係機関や団体等と協働しながら取り組みを行っていくことにしました。

この冊子では、「友愛活動」について理解を深めるため、《基本編》と《実践編》に分けて解説し、県内の実践事例も紹介しています。

また、ただ読むだけでなく、クラブで友愛活動について話し合う際や友愛活動を実践する際に役立つよう、記入様式なども掲載しています。

これから、友愛活動スーパーバイザーや市町村老人クラブ連合会役職員が、各地域で「友愛活動」をすすめていく際の「手引き」として是非ご活用いただき、住み慣れた地域で高齢者同士が支え合い、安心して暮らせる島根（まち）を目指していきましょう。

# 目次

はじめに

## 基本編

- 1 友愛活動のあゆみ ..... 3 P
- 2 友愛活動を見直すこととなった経緯 ..... 4 P
- 3 島根における友愛活動の整理 ..... 11 P
- 4 友愛活動スーパーバイザー・リーダーの役割 ..... 12 P
- 5 友愛活動実践のポイント ..... 13 P
- 6 市町村老連において友愛活動をすすめる手順 ..... 14 P
- 7 話し方・聴き方(傾聴)のコツ ..... 16 P
- 8 個人情報・プライバシーの取り扱い ..... 17 P

## 実践編

- 9 友愛活動のすすめ方 ..... 21P
  - ステップ1 全会員が「友愛活動」に対する理解・認識を深める
  - ステップ2 会員個々により「友愛活動」に取り組む
  - ステップ3-① 老人クラブで「友愛活動」に取り組む
  - ステップ3-② 地域の他の組織・団体との連携により「友愛活動」に取り組む
- 10 友愛活動を継続させるために ..... 30P
- 11 地域の相談員、専門職や関係機関等へのつなぎ ..... 36P
- 事例紹介 ..... 39P

～ 基本編 ～



# 1. 友愛活動のあゆみ

## 1 老人クラブ誕生とともに取り組まれてきた活動

友愛活動は、老人クラブの誕生とともに取り組まれてきた活動です。寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する「愛のひと声運動」や「安否確認」「友愛訪問」、老人ホーム等への「施設訪問活動」を中心に、多年にわたり広く取り組まれてきました。

## 2 全国運動として推進

昭和40年代に入り、寝たきり高齢者や一人暮らし高齢者の孤独死が社会問題となり、老人クラブにおいても県段階での組織的な友愛活動が各地で始まりました。その後、昭和55年から全国運動「健康をすすめる運動」の実践課題のひとつとして提唱、昭和61年からは全国三大運動として「健康をすすめる運動」「社会奉仕の日・一斉奉仕活動」と並んで重点的に推進されるようになりました。

## 3 在宅での生活を支える友愛活動

組織的な活動展開とともに、訪問を重ねるうちにちょっとした家事を手伝ったり、通院に付き添ったりということが自然に行われるようになりました。平成の時代に入り、国においても在宅介護に力を入れ始めました。

このような動きの中で、全老連創立30周年記念全国運動として、平成4年度から「在宅福祉を支える友愛活動」に取り組みました。

内容は、従来から行われている訪問活動を一步すすめて、援助を必要とする人に「家事援助」「日常生活援助」「外出援助」「話し相手」等を積極的に推進することにしました。

## 4 広がるサロン活動、暮らしの支え合い

平成12年度に介護保険制度が始まり、制度として在宅での生活を支える仕組みが始まった頃、活動内容を「話し相手」を基本に取り組むことにしました。

近年では、訪問活動に加え、サロン活動に取り組むクラブも増えてきています。また、高齢者同士が生活の困りごとを支える暮らしの支え合い活動も少しずつ広がりを見せています。

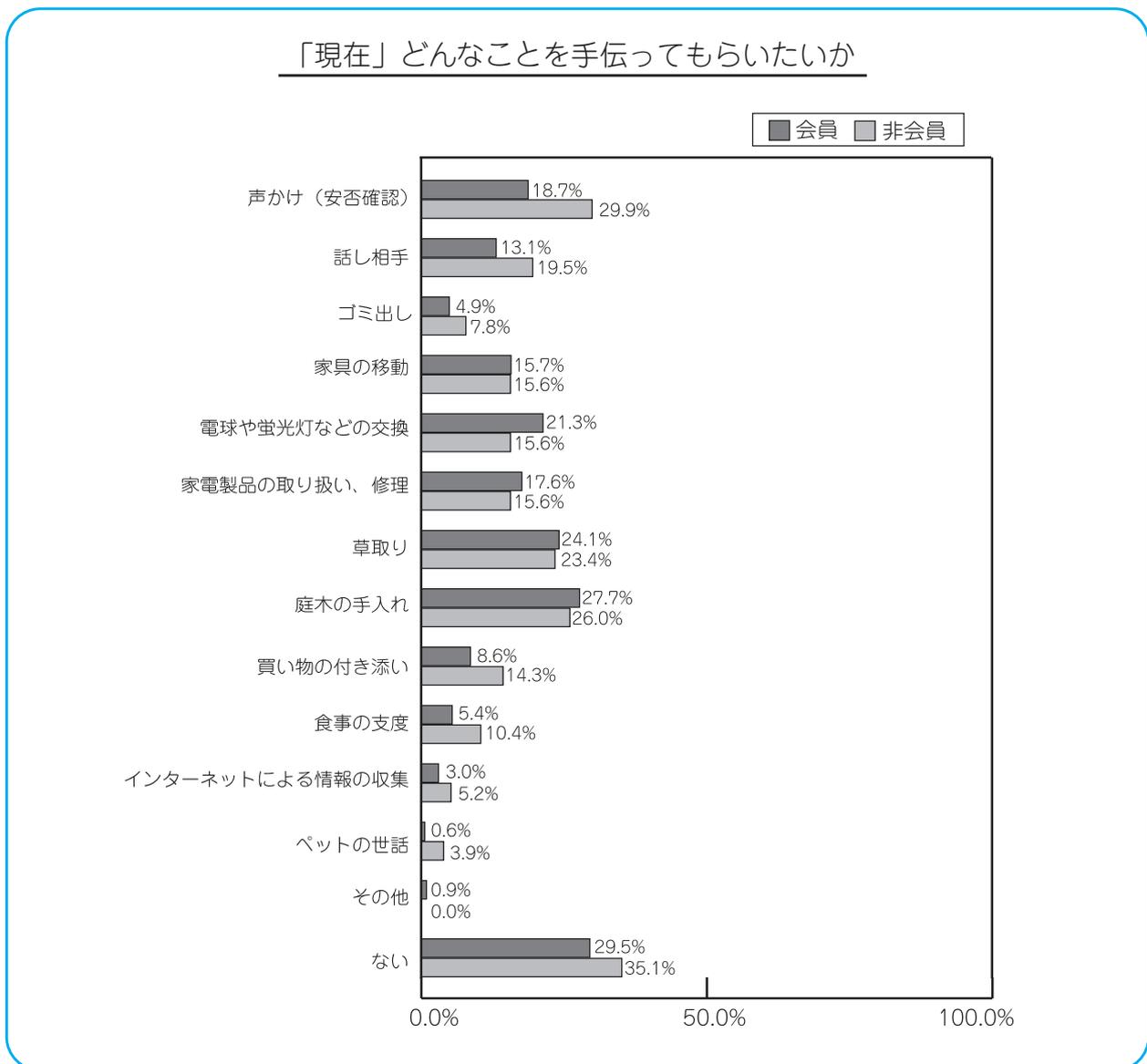
## 2. 友愛活動を見直すこととなった経緯

### 1 生活モニター調査「高齢者の暮らし支え合い」からみえた島根県における特徴①

老人クラブの会員でありながら、声かけ（安否確認）への要望（不安）が18%、話し相手については13%、その他生活の中における困りごとそれぞれ20%を超えていることが分かりました。

また、非会員については特に声かけや話し相手についての要望（不安）の割合が会員よりも高い（30%）ことが分かりました。

(図1)



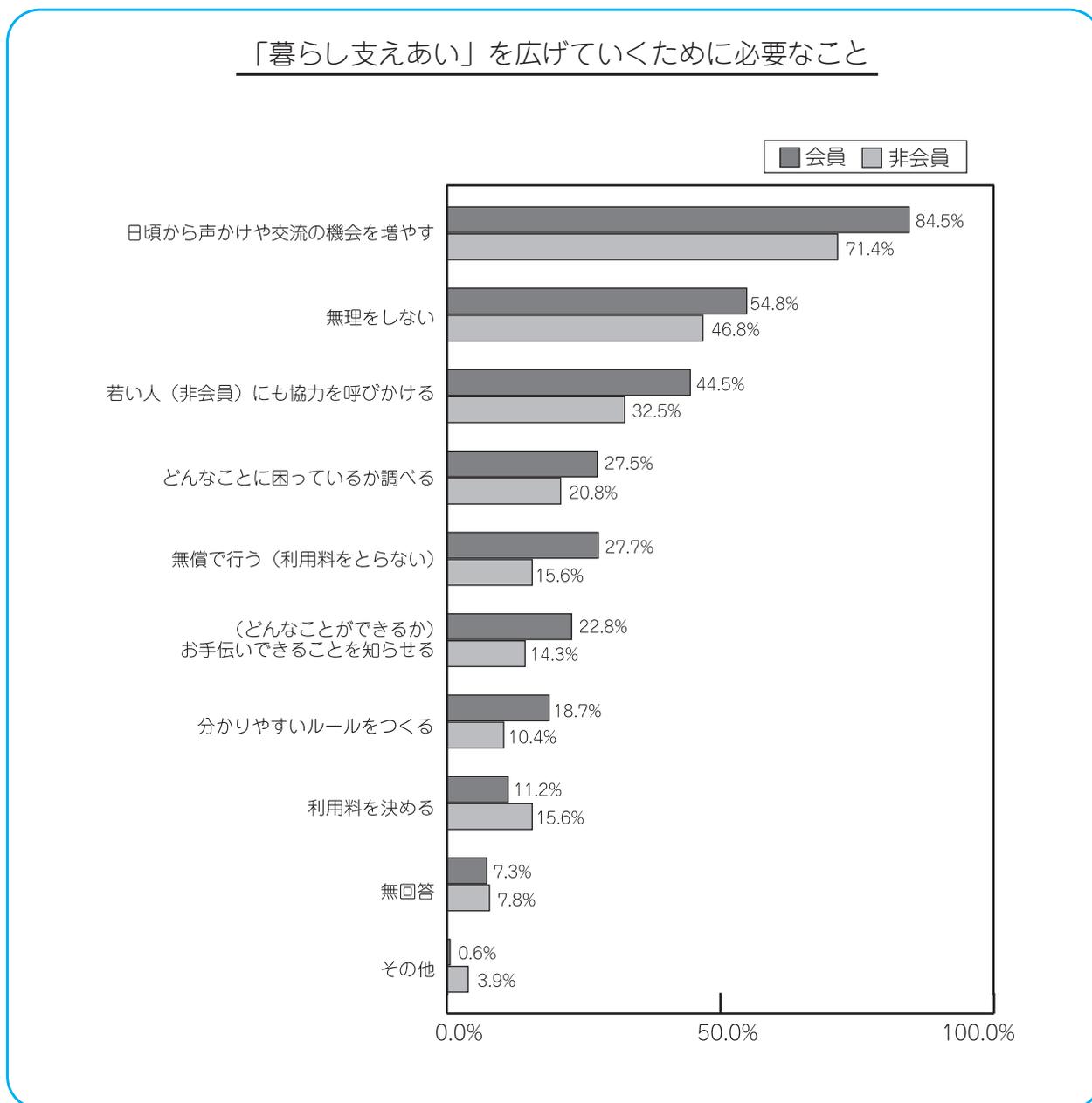
※老人クラブ生活モニター活動（H23.8月実施） 高齢者の「暮らし支え合い」について集計結果より



## 2 生活モニター調査「高齢者の暮らし支え合い」からみえた 島根県における特徴②

「暮らし支え合い」を広げていくためには、「日頃からの声かけや交流の機会を増やすことが必要」という方が、会員・非会員問わず、多いことが分かりました。

(図2)



※老人クラブ生活モニター活動（H23.8月実施） 高齢者の「暮らし支え合い」について集計結果より

## 疑問

老人クラブの全国三大運動のひとつである「友愛活動」の主要な取り組みとして定着されてきたはずの「声かけ」「話し相手」を必要としている人が多くいるのはなぜでしょうか。



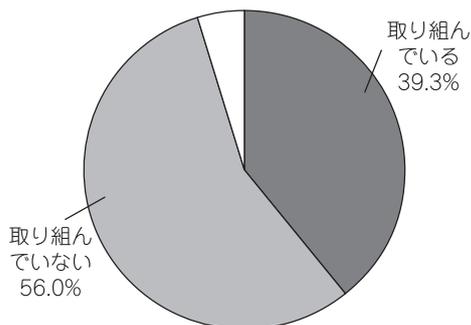
そこで、県老連では県内老人クラブの「友愛活動」の取り組み状況を把握するため、県内全単位クラブに対し、平成24年3月にアンケート調査を実施しました。

### 3 老人クラブ「友愛活動」アンケート集計結果（概要）

#### ■回収状況

送付数	1,200クラブ（H23.10.1現在の県内全単位クラブ）
回収数	798クラブ
回収率	66.5%

#### （1）友愛活動の取り組み状況



#### ◆自由記述◆

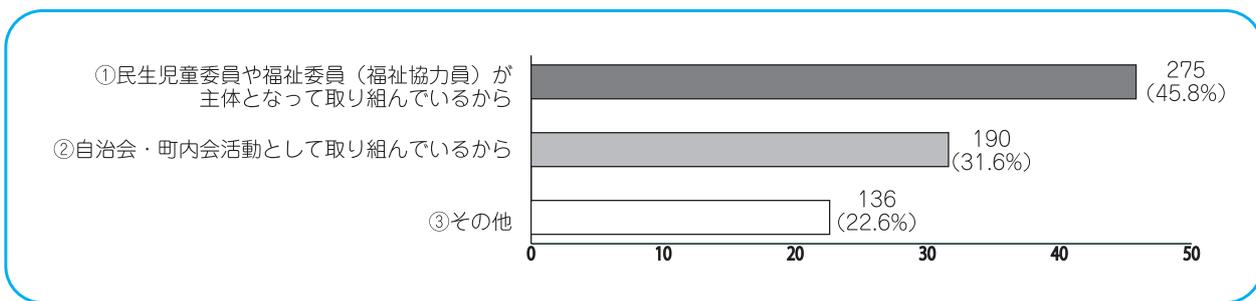
- ・「友愛活動」の意識が低い
- ・「友愛活動」という活動があると認識していなかった
- ・特に「友愛活動」として取り組まなくても日頃から交流がある

#### 課題①

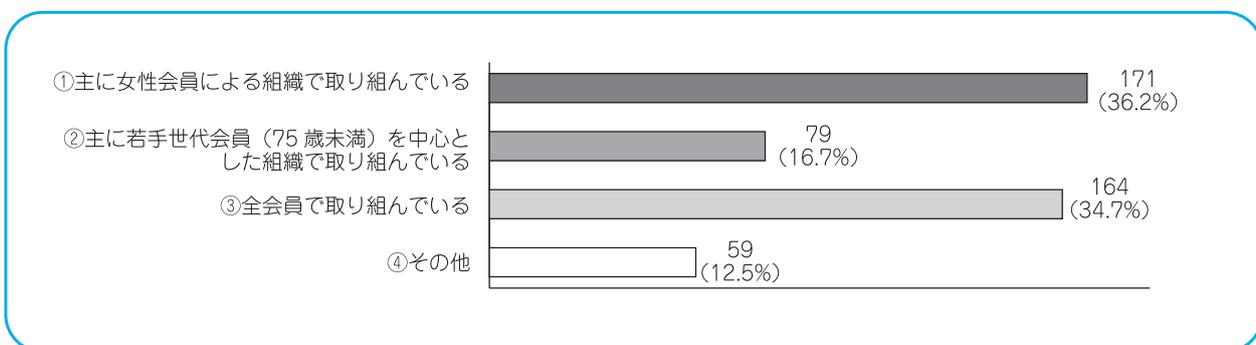
県内老人クラブにおける、定着した活動となっていない。

⇒活動の意義や重要性について改めて認識を深める必要がある。

## (2) 友愛活動に取り組んでいない理由

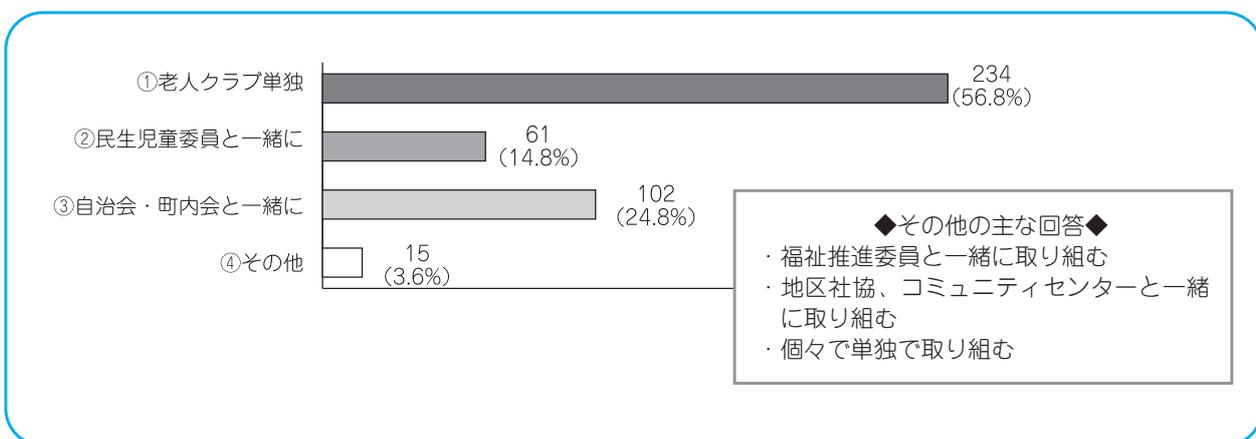


## (3) 友愛活動に取り組んでいるクラブにおける活動の担い手

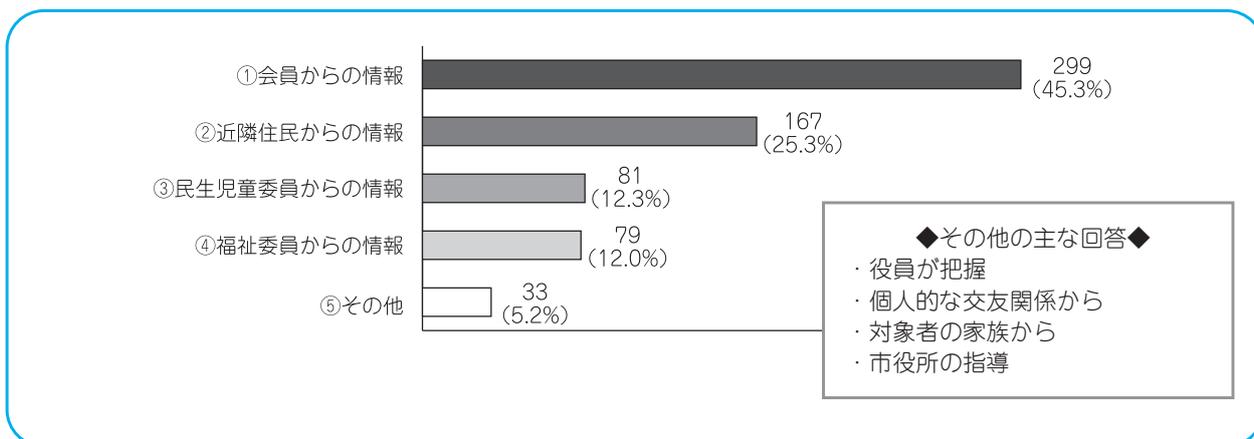


**課題②**  
 組織的に取り組む（全会員で取り組む）活動とはなっていない。  
 ⇒一部の会員による活動でなく、組織的にすすめていく必要がある。

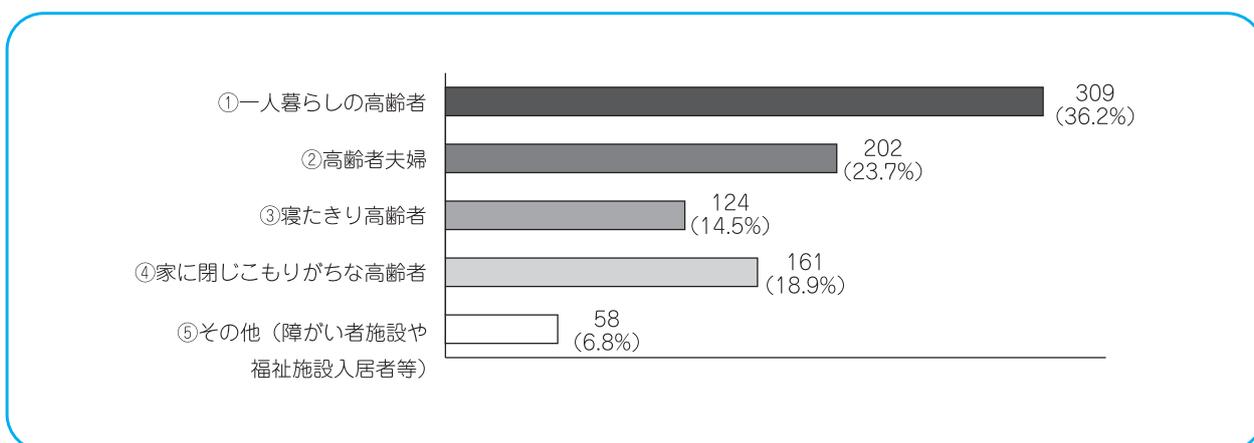
## (4) 友愛活動の実施形態



## (5) 友愛活動の対象者の把握方法



## (6) 対象者の区分



### 課題③

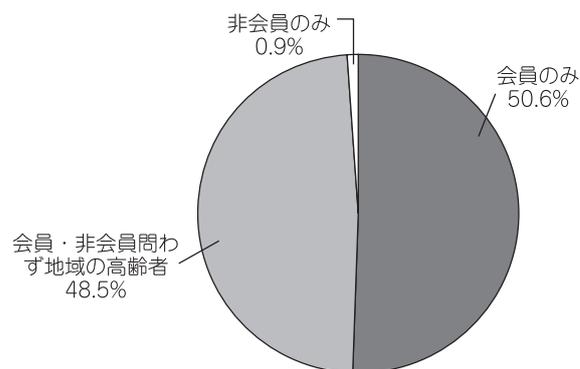
多くは、クラブ単独（独自）で活動している。

### 課題④

対象者は「一人暮らし高齢者」や「高齢者夫婦世帯」など比較的元気な高齢者に偏っている。

⇒地域のすべての高齢者をくまなく対象にしていくためには、他の団体等との役割分担も含め、地域にある他の団体等と連携した活動にしていく必要がある。

### (7) 対象者の属性

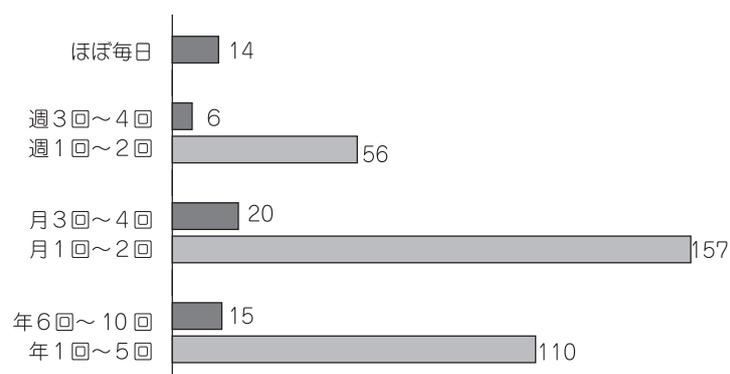


#### 課題⑤

老人クラブで行う友愛活動は、その対象を会員に限定しているところが約半数となっている。

⇒地域の「共助」を担う団体として、会員・非会員を問わず、活動を展開していくことが求められている。

### (8) 友愛活動の頻度

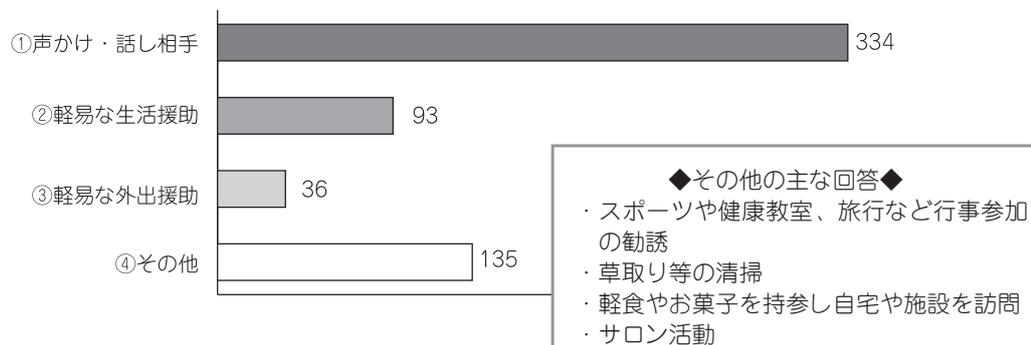


#### 課題⑥

友愛活動が日常的な取り組みとなっていない。

⇒同じ地域に住む住民同士の、日頃の“声かけ・訪問” “日常的な暮らしの支え合い” 等も「友愛活動」であることへの理解・認識を深める必要がある。

## (9) 友愛活動の内容



## 3. 島根における友愛活動の整理

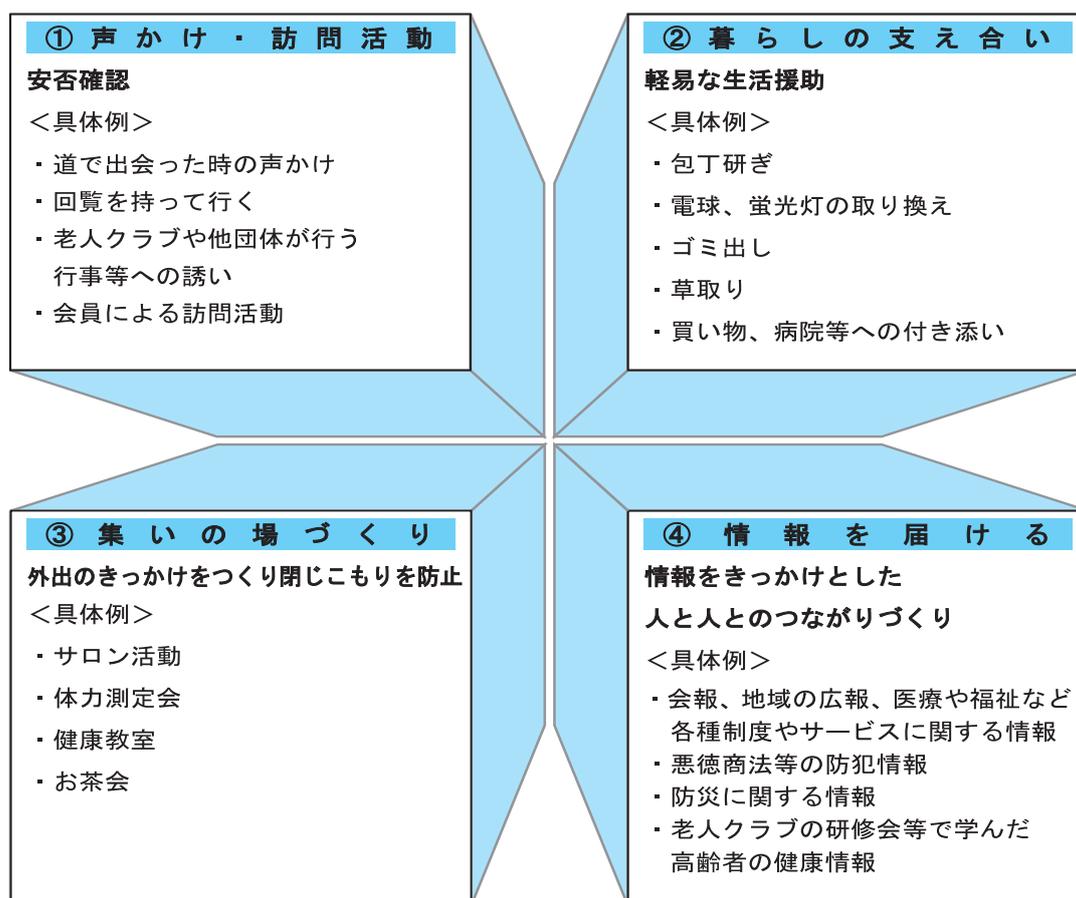
### 1 活動の取り組み方針

全会員が「友愛活動」の目的や意義、具体的内容を認識し、会員・非会員問わず、地域の高齢者を対象とし、全会員で取り組む活動とします

### 2 活動の内容

「友愛活動」は訪問活動だけではありません。皆さんが隣人として普段から何気なく行っている多くのことも「友愛活動」です。

#### 友愛活動4つの柱



### 3 友愛活動を推進することで目指す姿

住み慣れた地域で、高齢者同士が支え合い、安心して暮らせる島根（まち）を目指します。そして、「老人クラブとしての社会的価値」を高めていくことを目標とします。

## 4. 友愛活動スーパーバイザー・リーダーの役割

「友愛活動」を老人クラブ（市町村老連、各単位クラブ）として組織的に実施していく時には、その中核を担う人が必要となります。

### 1 友愛活動スーパーバイザー

「友愛活動スーパーバイザー」は、各市町村老連において「友愛活動」をすすめていく時の「指導者」です。具体的な役割は、次の3つです。

#### （1）活動の「推進役」

友愛活動の基本的な考え方、推進の方法等を理解し、各市町村老連で友愛活動が積極的に取り組まれるように支援します。

市町村老連で開催する「リーダー研修会」では講師となり、各単位クラブの「友愛活動リーダー」を育成していきましょう。

#### （2）リーダーの「相談役」

「友愛活動リーダー」から活動推進上の相談を受けます。自らの経験を踏まえて相談にのったり、また、他の地区の取り組み等が参考になる場合もあるため、他のスーパーバイザーにアドバイスを求めることもあります。

そのためには「友愛活動スーパーバイザー連絡会議」を開催し、意見交換の場を設けたり、日頃からスーパーバイザー同士の連絡体制をつくっておくことが重要です。

#### （3）他の団体等との「つなぎ役」

友愛活動を実施していく場合、老人クラブだけで取り組むより、他の団体と一緒に取り組んだり、役割を分担して取り組む方が効果的なことがあります。また、活動の中で老人クラブだけでは解決できない課題がでてくる場合もあります。

スーパーバイザーには関係機関との連絡・調整の役割（つなぎ役）が求められます。「友愛活動推進委員会」に参加して、他の団体・機関との連携体制をつくっておくことが重要です。

### 2 友愛活動リーダー

「友愛活動リーダー」は、各単位クラブにおいて、活動の中心となる人です。

「友愛活動の手引き」をもとに、会員に「友愛活動」について説明していただき、各ステップを参考に、単位クラブで実践をすすめていきましょう。

それぞれのステップの検討にあたっては「手引き」に掲載している様式も、ぜひ活用してください。

また「友愛活動リーダー連絡会議」で各単位クラブの活動について情報交換し、今後の取り組みにいかしていきましょう。

## 5. 友愛活動実践のポイント

初めて友愛活動に取り組む人は、活動に取り組む際の心得として、また、既に取り組んでいる人は、活動の基本として確認しながら取り組みましょう。

### 1 対等の友人として支え合う

活動をする上で、最も大切なのは高齢者同士対等の友人として信頼関係を築くことです。「しあげる」ではなく、「共に生きる仲間として支え合う」、それが友愛活動の基本的な姿勢です。

### 2 無理せず柔軟な活動にする

活動は、本人や家族の要望（ニーズ）に沿ったものか、また、老人クラブ会員が無理なくできる範囲であるかどうか話し合いながら取り組みましょう。

### 3 相手先との信頼関係を大切にす

活動を通じて知り得た情報は、他の人に漏らさないようにしましょう。また、家族と暮らしている人の場合は、活動が家族の精神的負担にならないように配慮するなど、相手先との信頼関係を築いていくよう心がけましょう。

### 4 ひとりで抱え込まず相談する

活動を続けていく中で、対応に困ったり、悩んだりしてしまった時は、仲間やクラブの友愛活動リーダーに相談しましょう。必要に応じて、友愛活動リーダーを通じて、友愛活動スーパーバイザーや専門家の意見を聞き、アドバイスを受けることも良いでしょう。

### 5 緊急時の対応に備える

訪問先の人やサロン活動等に参加した人が倒れてしまった時など、日頃から緊急時の対応について話し合い、確認しておきましょう。



救急車を呼ぶ時は 119 番です



緊急事態が発生したら、落ち着いて対処しましょう。

《聞かれること》

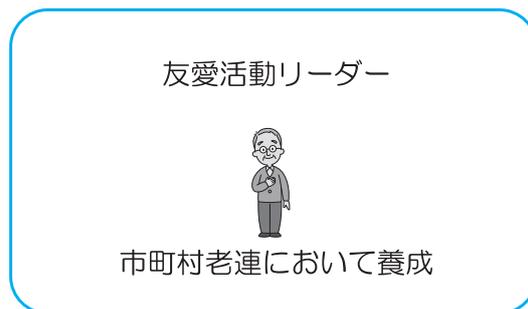
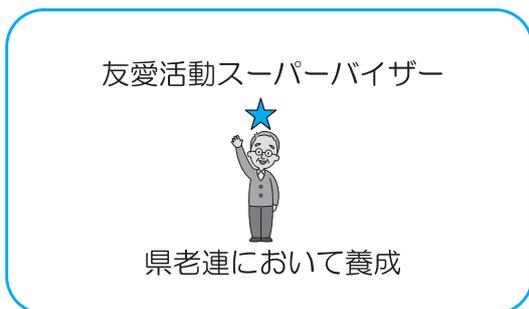
- ① 火事か救急か ⇒ 「救急です」
- ② 対象者の住所、目標になる建物など
- ③ いつ、誰が、どこで、どうなったか（症状）
- ④ あなたの名前と電話番号

など

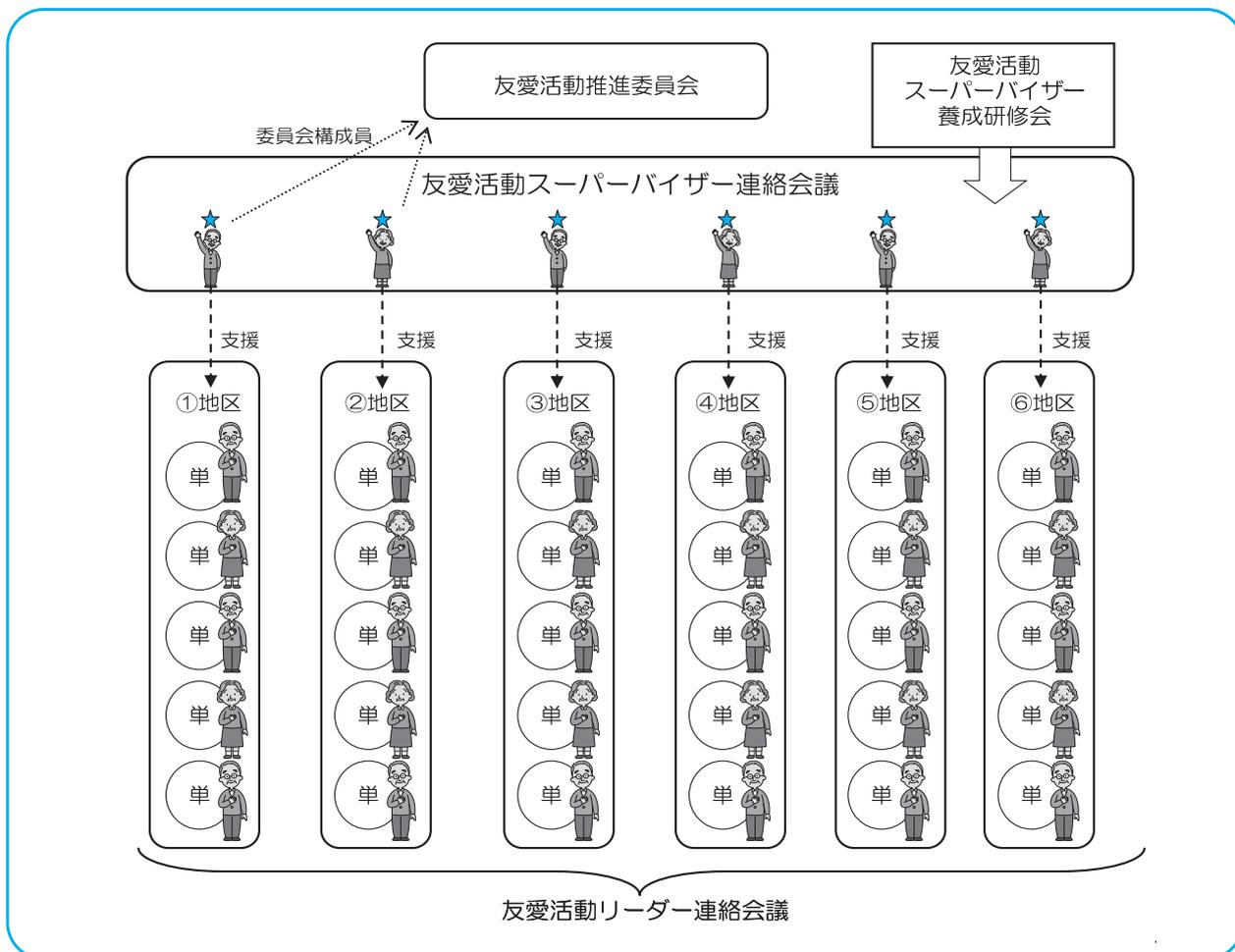
## 6. 市町村老連において友愛活動をすすめる手順

今後は、友愛活動スーパーバイザーが各市町村老連において、友愛活動の中核を担います。  
 目標は、県内全会員が友愛活動への理解を深めながら、全クラブで友愛活動を実施していくことです。

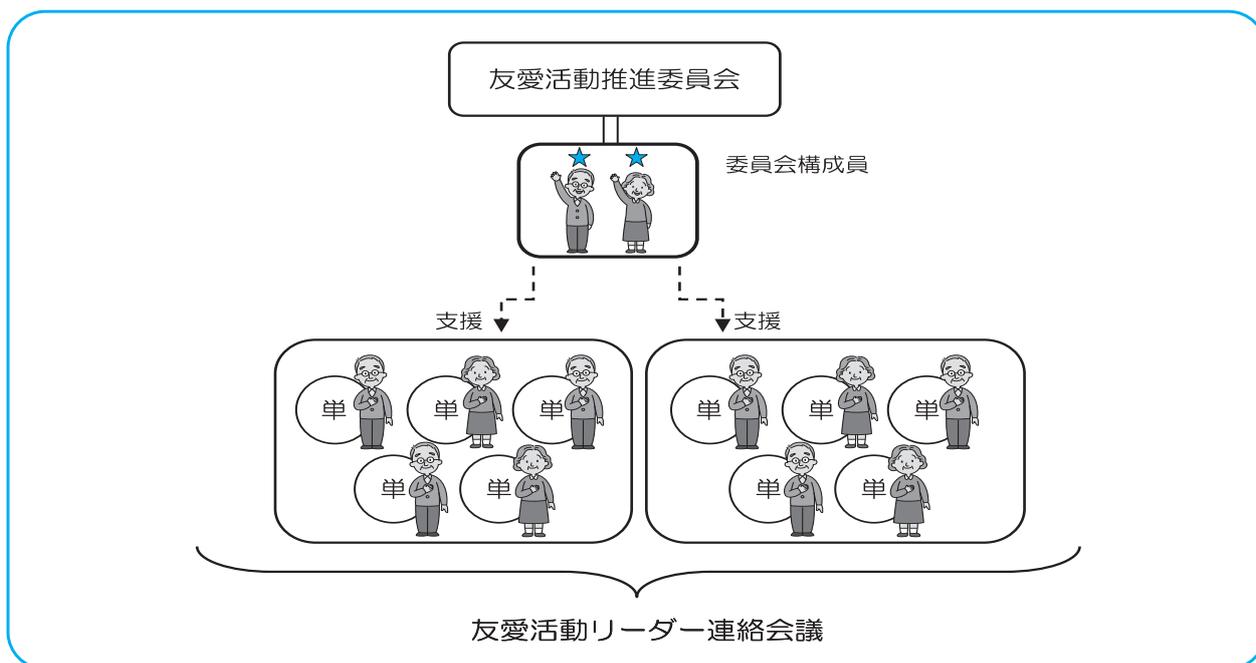
《市町村老連における組織構成イメージ》



【パターン①…大・中規模老連の場合】



【パターン②…小規模老連の場合】



## 1 友愛活動推進委員会の設置

「友愛活動推進委員会」を設置し、友愛活動のすすめ方について話し合きましょう。

### ○ 構成員（例示）

- ・ 友愛活動スーパーバイザー
- ・ 若手委員
- ・ 女性委員
- ・ 単老会長代表
- ・ 自治会代表
- ・ 民生児童委員
- ・ シルバー人材センター
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 行政 等

### ○ 役割

- ・ 「友愛活動リーダー」養成研修会の企画、検討
- ・ 単老の実態把握、情報収集、情報提供
- ・ 友愛活動の広報、啓発
- ・ 地域課題の把握、展開方策の検討

## 2 友愛活動リーダー養成研修会の実施

「友愛活動リーダー」とは、所属の単位クラブ内で友愛活動推進の中心となる人です。1クラブ1友愛活動リーダーを置くこと目指し、研修会を開催しましょう。

## 3 体制が整ってきたら…

同じ活動に取り組む者同士による経験交流や友愛活動に関する学習は、活動を継続していく上で励みになるものです。

友愛活動スーパーバイザー同士、友愛活動リーダー同士で集まり、連絡会議を開催しましょう。

## 7. 話し方・聴き方(傾聴)のコツ

### 1 会話によるふれあいを楽しむ

人と人とのつながりは、まず会話から始まります。高齢者にとっても、同世代の仲間との話は何より楽しいものです。会話によるふれあいを大切にしましょう。

また、高齢者の孤独感は、会話によってある程度解消するものです。会話から、相手の悩みや課題・問題点、新たなニーズが見えてくると思われます。

### 2 相手の話を一生懸命に聴く

人は自分のことを一生懸命聴いてもらうことで気持ちが落ち着きます。

また、聴いてもらうことで考えが整い、自分の持っている問題点の解決の糸口を自ら見出すことができることもよくあります。そして、そのことから生きる力が湧いてくるのです。

その意味からも「聴く」ということ（傾聴）は非常に重要です。「どうしたの？どんなことでも聴くよ」という心構えは援助の大事な基本です。

### 3 聞き上手になるコツ

話をする時は、こちらが一方向的に話すのではなく、できるだけ相手の話を引き出す「聞き上手」に努めましょう。話題が見当たらない場合は、その人の趣味や同世代ならではの若い頃の話などをしてみてくださいもいいかもしれません。

また、耳が遠い人の場合は、本人や家族に聞き取りやすい方の耳を確認した上で、時折こちらの話が伝わっているか確認しながら落ち着いてゆっくり話しをするようにしましょう。

良い話し相手とは、対象者があるがままに受け入れることができる人です。相手の話を否定したり、「こうしなさい」と指示的な態度をとったりするのではなく、「こうしてみたらどうでしょう」程度にとどめておくことが良いでしょう。

## 8. 個人情報・プライバシーの取り扱い

### 1 友愛活動と個人情報保護法

平成17年に施行された個人情報保護法は、インターネットによる電子商取引の急増などにより、個人情報を悪用する事件が発生するに至ったことから、国民が安心して高度情報通信社会のメリットを享受できるよう、大量の個人情報を扱う業者が適切な情報管理を行うように最小限のルールを定めたものです。

この「大量の個人情報を扱う業者」とは、「事業目的で個人情報を収集している企業・個人・商店などで5,000人以上の整理された個人情報を扱う事業所」を指します。

したがって、基本的には単位クラブのエリア内で行う友愛活動で取り扱う個人情報が5,000人以上になるということは考えにくいことから、老人クラブは個人情報保護法の適用は受けないこととなります。



☆個人情報保護法で規定する「個人情報」とは…

生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述などにより、特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む）をいいます。

### 2 個人情報やプライバシーへの配慮は信頼関係構築の基本

前述のとおり、老人クラブは、個人情報保護法の適用外になるとはいえ、友愛活動を行うにあたって個人情報やプライバシー（本人や家族の私生活に関すること）を取り扱うことには変わりありません。

友愛活動は、相手との信頼関係が前提となるため、個人的なことを根ほり葉ほり聞いたりしないこと、勝手に他の人に漏らさないことが重要です。



～ 実 践 編 ～



## 9. 友愛活動のすすめ方

友愛活動は、クラブや地域の特性、対象者の状況によって様々なすすめ方が考えられますが、ここでは基本的なすすめ方を示しています。順にステップを踏みながら、少しずつ無理なく取り組んでいきましょう

これから取り組もうとしているクラブは「ステップ1」から、友愛活動に既に取り組んでいるクラブは、現在の取り組み段階に合わせたステップからはじめていきましょう。

ステップ1

全会員が「友愛活動」に対する理解・認識を深める

ステップ2

会員個々により「友愛活動」に取り組む

ステップ  
3-①

老人クラブで「友愛活動」に取り組む

ステップ  
3-②

地域の他の組織・団体との連携により「友愛活動」に取り組む



## ステップ 1

## 全会員が「友愛活動」に対する理解・認識を深める

活動に取り組むにあたり、まずは共通理解を深めることが大切です。  
色々な行事を通じて会員同士で話し合ってみましょう。

(ポイント)

- ① 友愛活動4つの柱を理解しましょう。(11ページ参照)
- ② クラブ内での現状の取り組み状況を共通理解しましょう。
- ③ 現状の取り組みの中で困っていることについて意見を出し、共有しましょう。

(シート記入例)

- 1 あなたが現在取り組んでいることについて「4つの柱」に分けて記入してみましょう。

<p>① 声かけ・訪問活動</p> <p>安否確認</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・月に2回ほど、一人暮らしの方を訪問している。</li><li>・高齢の方に道で会った時には自分から声をかけるようにしている。</li></ul>	<p>② 暮らしの支え合い</p> <p>軽易な生活援助</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・車で買い物に行く時に、重いものやかさばるものは代行して買ってきている。</li></ul>
<p>③ 集いの場づくり</p> <p>外出のきっかけをつくり閉じこもりを防止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ときどき、近所の人をお茶のみに自宅に誘っている。</li></ul>	<p>④ 情報を届ける</p> <p>情報をきっかけとした人と人とのつながりづくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・老人クラブでの行事がある時に近所の人にも声をかけて誘っている</li><li>・会合で配られた悪質商法の注意喚起のチラシの内容を近所の人に伝えた。</li></ul>



- 2 現状の取り組みの中で困っていることについて記入しましょう。

- ・様子が気がかりな、男性一人暮らしの高齢の方がいるが、女性の自分一人では最初の訪問がしにくい。
- ・自宅でのお茶のみ会を開催すると、気兼ねをする人がいる。

- 3 お互いに、自分の書いた内容を発表し、クラブ内での状況を確認しましょう。

(ステップ1 記入シート)

1 あなたが現在取り組んでいることについて「4つの柱」に分けて記入してみましょう。

<p>① 声かけ・訪問活動</p> <p>安否確認</p>	<p>② 暮らしの支え合い</p> <p>軽易な生活援助</p>
<p>③ 集いの場づくり</p> <p>外出のきっかけをつくり閉じこもりを防止</p>	<p>④ 情報を届ける</p> <p>情報をきっかけとした人と人とのつながりづくり</p>



2 現状の取り組みの中で困っていることについて記入しましょう。

3 お互いに、自分の書いた内容を発表し、クラブ内での状況を確認しましょう。

※ コピーをしてお使い下さい。

## ステップ2

## 会員個々により「友愛活動」に取り組む

クラブ内の「友愛活動」への取り組み状況を確認したら、まずは「声かけ」、「お誘い」など、会員一人ひとりが「日常でできること」から取り組んでみましょう。

(ポイント)

- ① **ステップ1** で確認したクラブのみなさんの取り組みも参考にしながら、あなたが「日常でできること」を考えてみましょう。
- ② 現在の取り組みの中で困っていること等で「他のクラブ員と一緒に取り組むこと」で解決できること、一緒に取り組んだ方が効果があること等について考えてみましょう。

(シート記入例)

- 1 **ステップ1** で確認したクラブ内での取り組みを参考に、あなたがこれから「日常でできること」について記入してみましょう。

☆私が取り組む「友愛活動」

- ・「古紙回収」の時には声をかけて、手伝うようにしたい。
- ・「お茶のみ会」を週1回は開催するようになりたい。

- 2 お互いに、自分の書いた内容を発表し、「会員個々による取り組み」を把握しましょう。

☆みなさんが取り組む「友愛活動」

- 3 みなさんの発表を聞いて、あなたが「一緒にできる(したい)」と思った活動は何ですか。

地区の集会所を使った、お茶のみサロンを老人クラブで実施したい。

世話役を当番制にすると、あまり負担にならないし、自宅ではないので参加する人も気兼ねがないと思う。

(ステップ2 記入シート)

- 1 ステップ1で確認したクラブ内での取り組みを参考に、あなたがこれから「日常でできること」について記入してみましょう。

☆私が取り組む「友愛活動」

- 2 お互いに、自分の書いた内容を発表し、「会員個々による取り組み」を把握しましょう。  
☆みなさんが取り組む「友愛活動」

- 3 みなさんの発表を聞いて、あなたが「一緒にできる(したい)」と思った活動は何ですか。

※ コピーをしてお使い下さい。

## ステップ3-① 老人クラブで「友愛活動」に取り組む

友愛活動を効果的にすすめていくためには、組織として計画的にすすめる必要があります。

ステップ2で確認した、「個々で取り組む友愛活動」について、クラブ全体で、もしくはクラブの中でチームをつくって取り組んでいけるか、会員同士で考えてみましょう。

(ポイント)

- ① 取り組む活動の目的や活動方針等について、同じ理解・認識をしていきましょう。
- ② 活動を担当する部会や友愛チーム等の設置について話し合ってみましょう。
- ③ 活動を実施する際の役割を分担し、まずは実践していきましょう。
- ④ 活動のための資金等が必要な場合は、活用できる助成金を調べたり(※)、会費からの捻出、参加費の徴収等についても検討してみましょう。

※市町村老連や社会福祉協議会、役場等にも相談してみましょう。

- ⑤ 定期的に活動についての報告会を開催し、活動の成果や課題点等を共有することでより良い活動にしていきましょう。

(シート記入例)

活 動 の 名 称	お茶のみサロン	
活 動 の 目 的 (取 組 み 方 針)	外出のきっかけをつくり、閉じこもりや孤独を解消する。 気軽に参加してもらえ場所にする。	
活 動 の 対 象 者	〇〇地区の高齢者(参加したい人は誰でも良い)	
チ ャ ム メ ン バ ー と 役 割 ・ 当 番	(第1・第3月曜日) 松江 花子、浜田 一子 (第2・第4月曜日) 出雲 二郎、益田 三子	
活 動 日 時 ・ 場 所	日時 毎週月曜日(第5月曜休み)	場所 〇〇地区集会所
活 動 に 必 要 な 費 用	費用 年間4,000円(チラシコピー代) お茶・お菓子代は参加者負担とする	財源 老人クラブで予算化してもらう お茶・お菓子代 1人150円
活 動 の 内 容 実 施 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン開催のチラシをつくる。</li> <li>・ 回覧板にチラシを載せてもらい、地区の全家庭にサロン開催を案内する。</li> <li>・ 会員は、チラシを持って、個別に声かけをする。(特に男性会員は男性一人暮らしの方を積極的に誘ってみる)</li> <li>(当日)</li> <li>・ 当番は9:00に集合し、お茶の準備をする。</li> <li>・ 会員は、近所の人をできるだけ誘い合ってくるようにする。</li> <li>(内容)</li> <li>・ 健康チェック (担当: 浜田さん・益田さん)</li> <li>・ いきいきクラブ体操 (担当: 浜田さん・益田さん)</li> <li>・ ゲーム(頭の体操) (担当: 松江さん・出雲さん)</li> <li>・ お茶会</li> <li>(開催後)</li> <li>・ 次回も参加してもらえよう、また、知人にも参加してもらえよう声かけをする。</li> <li>・ 欠席した人がいたら、会員が帰りがけの様子を見に行くようにする。</li> </ul>	

(ステップ3-① 記入シート)

活動の名称		
活動の目的 (取り組み方針)		
活動の対象者		
チームメンバー と役割・当番		
活動日時・場所	日時	場所
活動に必要な費用	費用	財源
活動の内容 実施方法		

※ コピーをしてお使い下さい。

## ステップ3-②

## 地域の他の組織・団体との連携により「友愛活動」に取り組む

現在、「クラブ（友愛チーム等）で」取り組んでいる場合は、地域の高齢者の困りごとに対応できる活動となっているかどうか、改めて確認してみましょう。そして、他の組織・団体の活動も把握し、一緒に取り組める活動等があるかどうか、話し合ってみましょう。

### （ポイント）

- ① 地域の高齢者の生活上の困りごとを調べてみましょう。
- ② 地域の中で取り組まれている、様々な福祉活動（老人クラブで実施している友愛活動、その他の団体等が実施しているもの等）を調べてみましょう。
- ③ 現在取り組まれている福祉活動が、地域の高齢者の生活上の困りごとに対応したものになっているか調べてみましょう。
- ④ 他機関・団体との連携、役割分担も視野に入れながら、対応できていない困りごと（課題）に対する新たな友愛活動について考えてみましょう。

### （シート記入例）

地域の高齢者の困りごと	現在、地域で取り組まれている活動	活動に取り組んでいる団体・人	困りごとに対応した活動になっているか
一人暮らし高齢者等の食事の準備	配食サービス	社会福祉協議会	日曜日は配達がない お金がかかるので毎日頼むと負担が大きい
スーパーやホームセンターが遠い	特になし	特になし	対応できていない
災害が起きた時に自分で避難できるかどうか不安	災害時避難助け合い事業	行政 民生委員	手上げ方式のため登録していない人もいる



上記のことから「老人クラブとして新たに取り組める活動」や、「他の団体等と協力し合える活動」、「協力して行った方が良い活動」はありませんか？

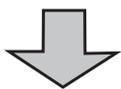
車の運転ができない方の買い物代行や、移動式販売等の仕組みをつくることできないだろうか。

「災害時避難助け合い事業」に登録が必要と思われる人への声かけが必要ではないだろうか。

「老人クラブとして新たに取り組める活動」があれば、**ステップ3-①**のシートを使って考えてみましょう。

(ステップ3-② 記入シート)

地域の高齢者の 困りごと	現在、地域で 取り組まれている活動	活動に取り組んで いる団体・人	困りごとに対応した 活動になっているか



上記のことから「老人クラブとして新たに取り組める活動」や、「他の団体等と協力し合える活動」、「協力して行った方が良い活動」はありませんか？

「老人クラブとして新たに取り組める活動」があれば、ステップ3-①のシートを使って考えてみましょう。

※ コピーをしてお使い下さい。

## 10. 友愛活動を継続させるために

友愛活動の取り組みができるようになったクラブは、今後も継続した取り組みになるよう、記録をつけたり今後の活動展開について話し合いを行うなど、体制を整えましょう。

### 1 記録をつける

クラブ内やチーム内で活動を記録する共通の様式を作成してみましょう。

相手の様子や気づいたことなどを記録することは、専門機関に相談する際にも大変役立ちます。なお、記録する際には、以下の点に注意し、チェックシートで確認しておきましょう。

#### ① 「記録票」を作成する上で気をつけること

自分が本人から直接聞いた話や、実際の行動、自分が感じた状況のみを記録します。他の人から聞いた「うわさ」や、憶測等を記入してはいけません。

#### ② 「記録票」の取り扱い

老人クラブ内で地域の高齢者の抱える課題等を共有する際の参考にします。

ただし、「記録票」そのものを資料として使ってはいけません（訪問先の氏名等、個人が特定できる状態で使用してはいけません）。

また、紛失等の恐れがあるため、「記録票」は持ち歩いてはいけません。

なお、たとえ家の中であっても、「記録票」は、家族や近隣の人が訪ねてきた時に目に触れる場所に置いておくことのないようにしましょう。

プライバシーの保護に配慮して、他の人の目に触れないように、きちんと保管をしましょう。

また、「記録票」を廃棄する時も、プライバシーに配慮して、きちんと処分しましょう。

### 2 活動の集約と報告

活動の記録をとりまとめ、全体の状況を把握し、今後のすすめ方を話し合いましょう。

また、活動状況を市町村老連の役員会や友愛活動推進委員会において、積極的に報告・発表するなど活動への関心を広めていきましょう。

ただし、そうした場合にも、不必要に個人が特定されることがないように、資料を匿名化するなどの配慮をしましょう。

(チェックシート)

～ 記録票を作成する上で気をつけること ～

- 「うわさ」や「本人から確認がとれていない内容（人から聞いた話）」等は書かないようにする。
- 「友愛活動の改善に役立てるための内容」「支援に必要な内容」のみ書くようにする。
- 「記録票」は持ち歩かないようにする。
- 「記録票」は、他の人の目に触れない場所にきちんと保管する。
- 老人クラブでの会議の時、「記録票」をそのままコピーして資料に使うことはしない。
- 記録票を廃棄する時は、プライバシーに配慮してきちんと処分する。



(記録票 作成例①：訪問活動用)

No. \_\_\_\_\_

## 記 録 票

訪問先（氏名）：〇〇 〇〇さん

活動期間：平成24年 5 月 8 日 ～ 平成25年 3 月31日

活動回数：  30  回

記録（活動員名）：△△ △△

月 日	気づき・連絡事項
5 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ウォーキング大会の案内のチラシを持って行く。</li><li>・先月、足を痛めたので、それから外に出るのが面倒くさくなってしまった、と話していた。</li></ul>
5 月22日	<ul style="list-style-type: none"><li>・サロン活動へ誘ってみる。</li><li>・歌ったり、ゲームをしたりはあまり好きではないと言われ、サロンには行かないと言われる。</li></ul>
6 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・買い物帰りに寄ってみる。庭の草が伸びてきたので刈りたいが、足が痛くてできない、というので、明後日、草刈を手伝うことにする。</li></ul>
6 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・草刈が終わってから、久しぶりにゆっくりと会話する。</li><li>・庭木の手入れもしたい、ということなので、シルバー人材センターに依頼してはどうかと伝える。</li></ul>



(記録票 作成例②：サロン等、クラブで取り組む活動用)

No. \_\_\_\_\_

## 記 録 票

活 動 名：いきいきサロン（〇〇地区：毎週火曜日）

活動実施日：平成25年〇月〇日

活 動 場 所：〇〇地区公会堂

参 加 者 名：〇〇、△△、□□、◇◇、○△、□◇

活 動 員 名：（会 員）松江 花子、浜田 一子、出雲 二郎、  
（会員外）益田 三子、大田 四朗

内 容	気づき・連絡事項
健康チェック	・ 特に変わったことはなかった。
いきいきクラブ体操	・ 今日座って体操をされる方が多かった。 椅子があと2つあると良い。
ゲーム（頭の体操）	・ 手と頭を使ったゲームで、途中、笑いがおこる場面があって楽しかった。
歌	・ 歌詞を知らない人がいたので、次は歌詞カードを準備しておこうと思った。
お茶会	・ ボランティアの〇〇さんが、手づくりのクッキーを差し入れしてくれた。

気づいたこと、次回への申し送り等

- ・ 暑くなってきたため、お茶会の時間までの間で水分の補給が必要だと思う。  
次回からは参加者の皆さんが来る前に、お茶を作っておくと良い。
- ・ 今日は△△さんがお休みでした。帰りがけに、様子を見に寄ってみることにします。

## 記 録 票

活 動 名 :

活動実施日 :

活動場所 :

参加者名 :

活動員名 :

内 容	気づき・連絡事項

気づいたこと、次回への申し送り等

--

※ コピーをしてお使い下さい。

## 11. 地域の相談員、専門職や関係機関等へのつなぎ

友愛活動の取り組みの中で、「いつもと違うな」とちょっとした変化に気づくことや、支援が必要な人や新たな生活・福祉課題を発見することがあります。

老人クラブだけでは解決ができないことについては、地域の相談員や専門職、専門の関係機関、行政のサービスなどに、迅速につないでいきましょう。

(ポイント)

- ① 大切なことは、「老人クラブだけで課題を解決していくこと」ではなく、「地域の関係機関・団体等と連携しながら問題解決を目指していく関係をつくること」です。
- ② そのためにも、常日頃から様々な機関・団体との関係づくりや情報収集、情報交換を行っていくことを心がけましょう。

### 1 地域を担当する相談員や、専門職、専門の関係機関、行政等が提供する活動やサービスを調べる

地域を担当する民生委員等の各種相談員や、地域包括支援センター等の相談ができる機関等を把握してみましょう。

また、それぞれの機関で、どのような内容の相談ができるかも調べておくといいでしょう。

### 2 老人クラブ活動への理解と協力を依頼する

普段から、様々な相談機関等とつながりをつくっておくことが重要です。

地域を担当する民生委員等の各種相談員や、地域包括支援センター等の相談機関、行政の高齢者福祉担当課や社会福祉協議会等に対し、老人クラブで友愛活動に取り組んでいることを伝え、私たちの活動への理解と協力を依頼しましょう。

### 3 老人クラブだけで解決しようとせず、難しい問題等は専門の機関に迅速につなげる

活動をすすめていく中で、自分では判断に迷うことや、難しい問題にあたった場合には、すぐに老人クラブの「友愛活動スーパーバイザー」や、地域を担当する各種相談員、相談機関等に「迅速に」つなぎましょう。

また、専門機関に相談をつなぐ場合には、必ず本人に連絡し、了解を得ておくことが重要です。(但し、生命に関わる状況や、財産に関わる事態など、緊急の場合で本人の了解を得られない場合は、専門機関への相談を優先します)

### 4 行政や関係機関等への提言・要望につなげる

友愛活動を通して把握した課題や友愛活動では解決できない課題等については、市町村老連を通じて積極的に提言・要望活動につなげていきましょう。

(作成例)

## 地域の相談員・相談機関一覧

相談できる内容	相談員・機関名	連絡先	担当者名
生活・福祉に関する相談	民生委員	**-0000	松江 一郎
高齢者の介護や生活支援に関する相談	〇〇地区地域包括支援センター	**-1111	大田 五郎
ものわすれ相談	◎◎保健所	**-2222	
認知性高齢者等の福祉サービスの相談・利用手続き	生活支援員 (社会福祉協議会)	**-3333	出雲 三郎 (社会福祉協議会)
高齢者への虐待に関する相談	◎◎市役所 高齢者福祉課	**-4444	
女性や家庭の問題に関する相談	女性相談員	**-5555	益田 四子
商品購入やサービス提供に関する苦情やトラブルの相談	県消費者センター	0852-**-6666	
悪質な訪問販売等についての相談	警察本部生活環境課	0852-**-7777	
年金に関する相談	〇〇年金事務所	0852-**-8888	



## ～ 事例紹介 ～

- 1 友愛活動の推進体制づくり  
邑南町老人クラブ連合会
- 2 他団体・組織とのネットワークづくり  
出雲慶人会連合会 神門地区神門慶人会
- 3 友愛活動の実践  
隠岐の島町老人クラブ連合会 今津老人クラブ長生会

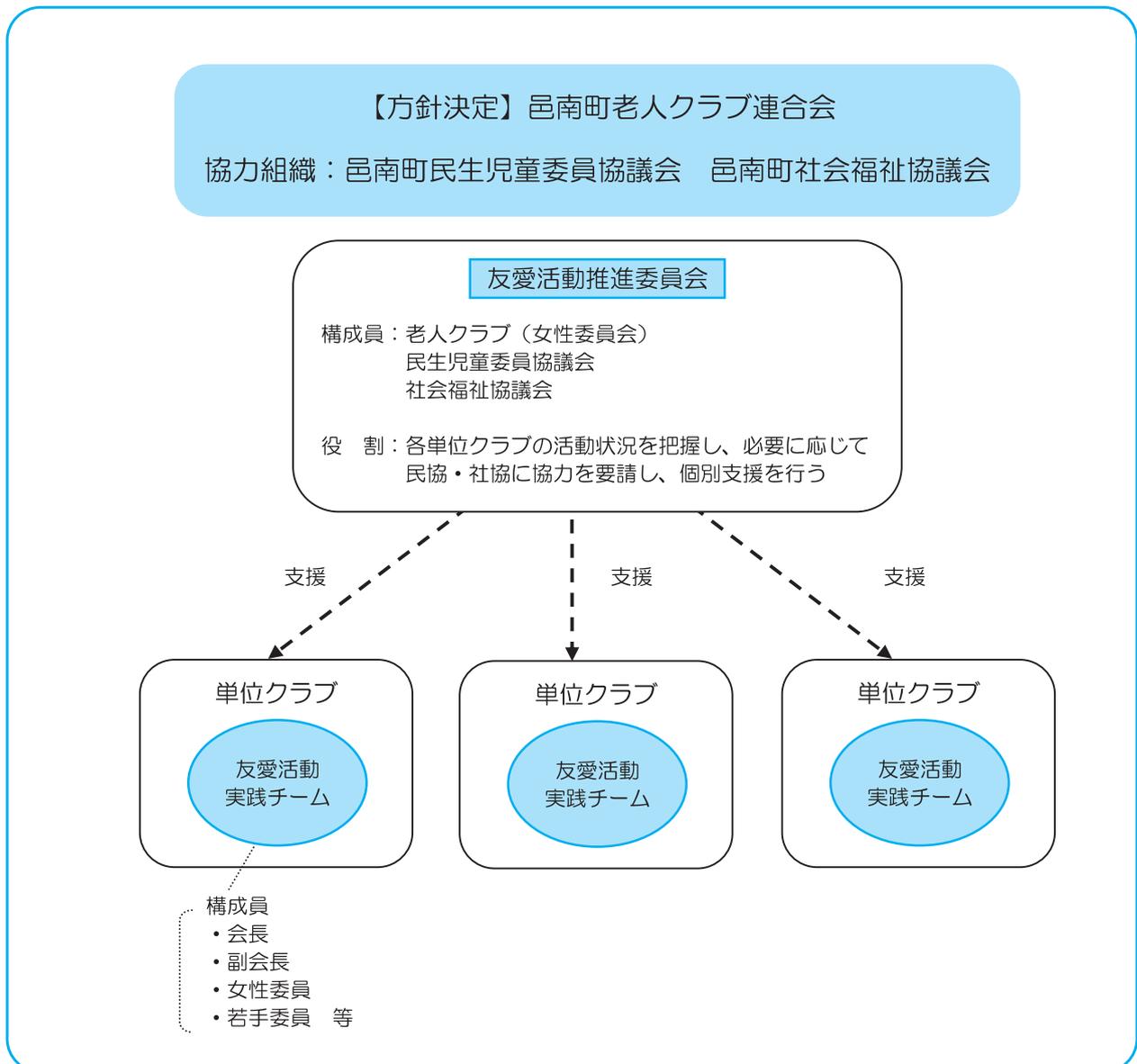
## 事例紹介①

# 友愛活動の推進体制づくり

邑南町老人クラブ連合会 27クラブ 会員数 2,639名

邑南町老人クラブ連合会では、友愛活動を「新たな地域活動」と位置付け、平成25年度から女性委員会を中心とした「邑南町友愛活動推進委員会」を設置し、各单位クラブにおいてそれぞれの地域実態に合わせた友愛活動を実施することにしました。

また、邑南町民生児童委員協議会と邑南町社会福祉協議会にも委員会へ参画してもらい、友愛活動についての相互理解や他の団体・組織が行う訪問活動や訪問調査活動等との事業調整を図り、協力体制をとりながら、情報交換・情報提供、支援活動等を行っていく方針です。



### \* 中心となるのは女性委員

各単位クラブには、女性会員の代表者である「女性委員」を配置しており、友愛活動はこの「女性委員」が中心的役割を担います。

友愛活動をすすめるにあたっては、各クラブに「友愛活動実践チーム」を編成し、そのクラブの歴史や地域性を考慮した独自の実践活動行うこととしています。

### ～友愛活動実践チーム～

\* 推進役 女性委員

\* 構成 会長、副会長、女性委員、若手委員等

\* 友愛活動の内容

声かけ訪問、老人クラブで行うお茶会、いきいきサロン、ふれあいサロン、自治会・公民館等の行事への誘い

\* 友愛活動の対象者

65歳以上の高齢者（会員・非会員問わず）

“向こう三軒両隣”を基本に取り組みを広げよう！

### \* 地域住民に「老人クラブ」を知ってもらいながら取り組む

友愛活動は、その活動の必要性や効果を地域住民に理解してもらうとともに、老人クラブが地域福祉の担い手であること認識してもらう必要性も感じています。

そこで、老人クラブでは友愛活動を組織的に取り組んでいくことを伝えるチラシを作成し、友愛活動の取り組みと合わせ老人クラブのPR活動にも取り組んでいます。

友愛活動を通じて、老人クラブという組織の必要性や活動への理解も深めていきたいと考えています。



出雲市神門地区では、平成17年度から慶人会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会との三者により65歳以上の独居者及び75歳以上の高齢者のみ世帯を対象に訪問・声かけ等を行う「高齢者見守り・声かけ運動」に取り組んでいます。

#### \* 社会福祉協議会からの声かけ

運動に取り組み始めてから7年間は、各団体で対象者（世帯）を把握し、三者による話し合いの場もあまり持たれないまま、それぞれに多様な活動をしていました。

そのような中、「もっときめ細かい見守り活動をしたい」という社会福祉協議会からの声かけにより、平成24年度から改めてネットワークづくりに協力していくことにしました。

#### \* 情報の共有・役割分担

まずは、「このネットワークの活動以外には情報を外に出さない」という約束の元、各団体の対象者（世帯）の情報を社会福祉協議会で集約・整理し、一覧表を作成しました。

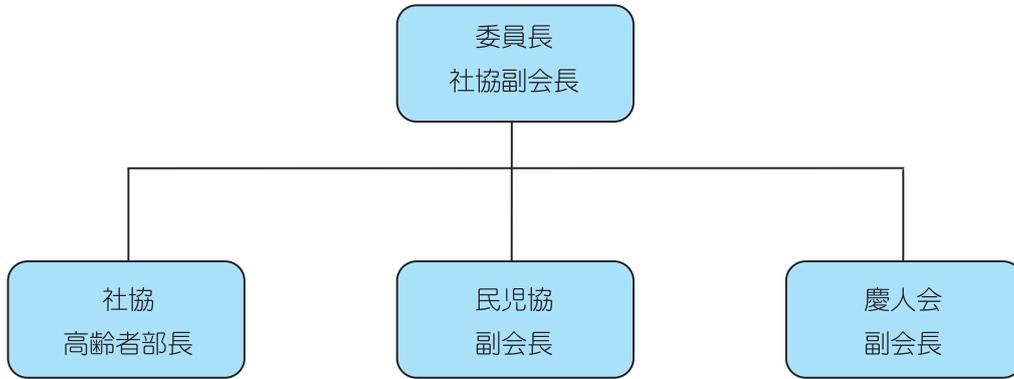
三者のネットワークができたことにより、必要な情報が共有でき、老人クラブだけでは訪問しにくいところは福祉委員さんや民生委員さんと一緒に訪問したり、重複しているところは役割分担をしたり、それぞれが協力し合い訪問しています。

#### \* 訪問する際には

老人クラブで訪問する際には、園児とつくった笹巻や女性委員で作成したタワシなどを持って訪問します。また、社会福祉協議会が開催するサロン活動の案内などの情報を届けることで、サロン活動へつなぐこともできます。

訪問した時に、何か問題やちょっとした気づきを発見した場合には、各単位クラブの会長を通じて、地域の福祉委員さんや民生委員さんに相談できる体制づくりが自然にできています。

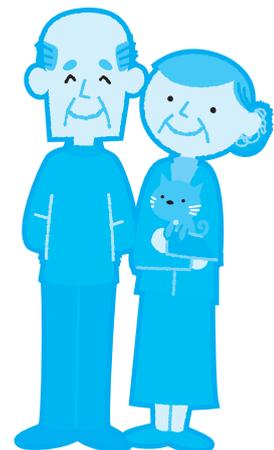
～ わがとこネットワーク組織図 ～



～ ネットワークのみなさん～



神門社協・民児協・慶人会 懇談会



今津老人クラブ長生会は、地域高齢者の生活上の困りごとに目を向け、企業や自治会、役場や社会福祉協議会等、様々な団体に働きかけを行い、連携・協力しながら課題解決に取り組んでいます。

老人クラブが地域に貢献する団体として認識されることにより、存在感を高め、活動の活性化にもつながっています。

### \* らくらくショッピングの仕組みづくり

今津地域は、高齢化・過疎化の進む地区であり、急坂が多く、交通の便も良くないので、生活するには負担の多い地域です。

これまで地区内で営まれていた商店が無くなってからは、一人暮らし高齢者が町の中心にあるスーパーへ買い物に出掛けることに大変不便に感じていました。

こうした中、長生会が中心となり、町内のスーパーに働きかけを行い、今津地区内で買い物ができるよう「らくらくショッピング」という仕組みづくりを行いました。

#### ～ショッピングの流れ～

- ①毎週水曜日に会員が地区集会所で準備を行います。
- ②スーパーの従業員がそこに店を開き、「写真入り商品カード」をボードに掲示します。  
準備が整うと、集会所の放送で開店のアナウンスをします。



- ③買い物をされる方は、商品の代わりに「写真入り商品カード」を選び、支払いを済ませます。



- ④翌日、集会所に購入した商品が配達されます。
- ⑤持ち帰りが難しい方へは、集会所へ配達された商品を老人クラブ会員が家まで配達しています。



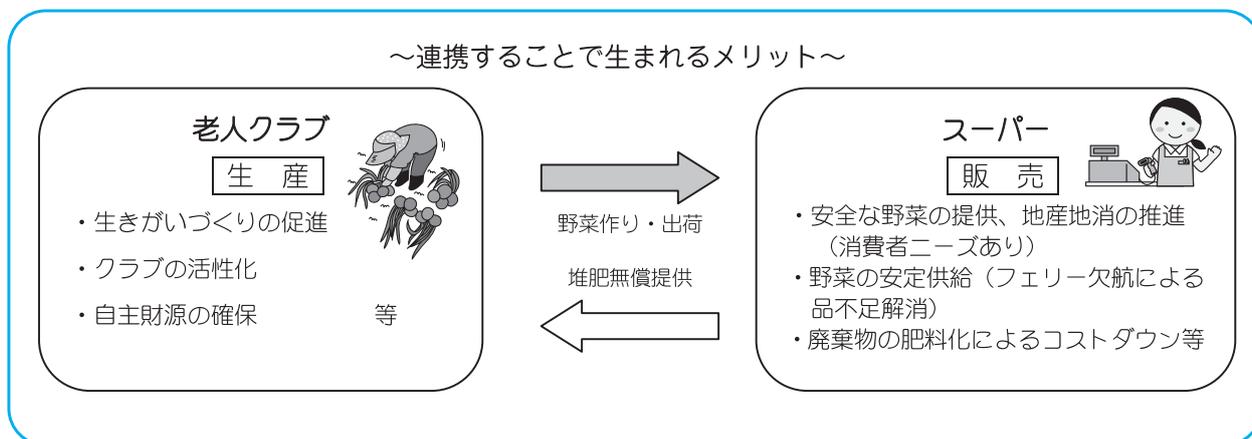
**\*利用者の声\***

近くに店がなくなった時には本当に困りましたが、このような仕組みができてありがたいです。重い荷物がある時には会員さんが持ってきてくださることも助かっています。現在の利用者はほとんどが会員ですがもっと色々な方に利用してもらいたいと思います。また、集会所でお茶を飲みながら顔を合わせることも楽しみのひとつになっています。

現在は、集会所まで来られない方の買い物方法や、直接店に行けるような仕組みづくりについても話し合いを行い、働きかけを続けています。

また、これらの活動をきっかけに、老人クラブとスーパーが協力し、野菜の販売を行うことも検討しています。

～連携することで生まれるメリット～



**\* 今津地区の取り組みが隠岐の島町全体の取り組みへ**

坂の多いこの地区では、一人暮らしの高齢者がゴミを収集場所に持って行くことに困難を感じているという問題もありました。

そこで、町役場の担当課へ働きかけを行ったところ、ゴミ出しの困難な家庭には、直接ゴミ収集車が回収を行うことになり、さらにこの方法は、町全体で取り組まれることになりました。

また、長生会ではゴミ出しが困難な家庭に気づいた場合は、役場への申請の手伝いも行っています。

友愛活動の手引き  
～友愛活動スーパーバイザー編～  
平成26年3月発行

公益財団法人 島根県老人クラブ連合会  
〒690-0011 松江市東津田町1741-3  
TEL (0852) 32-5971  
FAX (0852) 32-5982  
E-MAIL rouren@fukushi-shimane.or.jp  
URL <http://www.fukushi-shimane.or.jp/html/rouren/>

【参考文献】

- 「『在宅福祉を支える友愛活動』の手引き」(公益財団法人全国老人クラブ連合会編)  
「みんなで取り組むこれからの友愛活動」(公益財団法人全国老人クラブ連合会編)  
「個人情報の取り扱いについての基本的な考え方と留意点」(全国民生委員児童委員連合会編)

